

寺報

No.620

平成31年4月

蓮華寺
發行

御聖訓

各々おのおの師子王ししおうの心こころを取り出して、
いかに人脅ひとをどすとも怖おそぶる事ことなかれ
師子王ししおうは百獸ひやくじゅうに怖おそぢず。彼等かれらは野
干かんの吼ほゆるなり、日蓮いちもんが一門いちもんは師子
の吼ほゆるなり。

『聖人御難事』



(解説)

「法華経・お題目を信じる人達は皆、獅子（ライオン）のような強い心を持ち、たとえ他のどのような人達から脅されたとしても、この信仰を捨ててはいけませんし、また恐れる必要もないのです。まさにいずれの脅しにも動じない処から、獅子は百獣の王といわれるのです。」

同じく、他宗教の人々の脅しはつまらぬ獣が吼えているようなものであります。

私達一門が広める教えこそが最高であり、これが獅子が吼えるという事なのです。」

こう日蓮大聖人はお説きになりました。つまり、我々は常に強い心を持つて信心に励んで欲しいという大聖人の願いです。

しかし、我々の心の隙間すきまが出来た時に乗じて、様々な脅しをしながら勧誘する宗教がいまだにたくさんあります。

でも、我々が良き人生を送る為には、大聖人が説かれた法華経・お題目の御教えにしたがう他には救いの道はないのです。

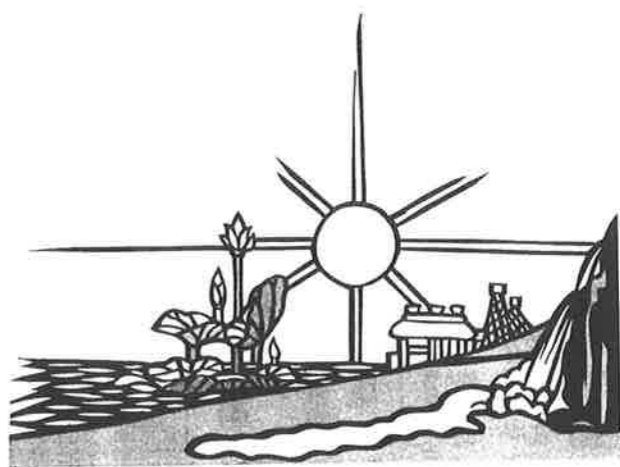
今一度心を引締めて、信仰に励んでいきましょう。

会誕降御祖宗

四月十三日(土)

午後一時より

場所…大本堂



日蓮大聖人生誕・妙の浦

*日蓮大聖人様のお誕生日の日です。
*皆さんでお祝い致しましょう。
*お供物も受け付けます。

『鯛の浦』

日蓮大聖人がお生まれになりました地は、今の千葉県鴨川市の小湊という小さな漁村です。

お誕生の日は貞応元年(一二二二)二月十六日で、不思議にもお釈迦様がお亡くなりになりました二月十五日の翌日に当たります。

まさに、お釈迦様の最高の教え『法華経』を、今の末法の世に広める為に、生まれ変わったといえるでしょう。

その後、生家に建てられましたお寺は、『誕生寺』と名付けられ人々の信仰の場として繁栄しました。

しかし、この場所も二度に渡る大地震と津波により、本堂と多くの宝物を流失してしまいました。

そして現在地に移転し再興されたのは、江戸時代中頃であり、特に水戸光圀公(黄門様)の援助が大きかったといわれています。

本来の大聖人のお生まれの地は、今では海中に没してしまいましたが、しかしその地は今も『鯛の浦』と呼ばれて名所となって残っています。

『鯛の浦』は大聖人が誕生した時、それを喜んだ鯛が群れ集まったという伝説がある所から、別名『妙の浦』ともいわれます。

この鯛は大聖人の生まれ変わりとして、捕獲する事が禁じられていて、この地が食糧難になった時でも、地元の人々は決して捕る事はしなかつたそうです。

その為、今でも日本で有数の天然鯛の群生地として有名で、参拝者の他に多くの観光客も訪れています。

大聖人は自らを『漁夫の子』と称してその身分は現在でも謎とされています。

幼名が『善日磨』といわれる所から、様々な憶測がさされていて、源平の内乱でこの地に流れ着いた武士の末裔で、当時漁師達を束ねていた『貫名重忠』の子ではないか、また当時の『後鳥羽上皇』の子ではないかともいわれています。

しかし、大聖人は仏様の慈悲を戴く者には、身分や家柄、職業などは関係なく、ただ我々がいかに法華経・お題目の信仰をしていく事が大切なのであるかという事を教えられました。

『位牌壇』募集!

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様の御命日に当る日に、諸用や旅行などで不在の時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも構いません。

◎現在空いています上位の位牌壇に上がりたい方は、数がある限り無料でお譲り致しますが、維持費は増額になります。

◎やむなく、ご親戚やご友人に譲渡する事も出来ますが、その際はお寺に必ずご連絡下さい。

日朝上人と目薬

当山でも根強い人気があります目薬【朝光水】は行学院日朝上人という方に関連があります。

日朝上人（一四二二〜一五〇〇）は室町時代に伊豆に生まれ、八歳の時、身延門流の「日出（にっしゅつ）上人」の弟子となり、京都・比叡山・奈良など各地を遊学し天台、真言や諸宗なども研鑽したという中世日蓮宗教学の代表的な学匠でした。

そして、その学徳が認められ寛正三年（一四六二）四十歳の時、身延山久遠寺第十一世として迎えられ、実に三十七年間に渡り多くの業績を残されました。

まず、度重なる身延川の氾濫によって起る、水害に悩まされていた久遠寺の伽藍を、西谷の地から現在地に移転させ、更に諸堂の建立に努めたのです。

正に、日蓮大聖人滅後二百年を経ての大敢行でした。合わせて、身延山の年中行事・月行事の制度や法要式の法則も定め、久遠寺の護持運営と門下教育にも力を注がれました。

また、日蓮大聖人の御遺文を蒐集し、書写すると共

に、その注釈書を書き、更には「元祖化導記」という日蓮大聖人の伝記も表わすなど、多くの述作によって教学の興隆に尽されました。

日朝上人は、何事に対しても全精力を傾注するお方でしたので、その心労からか晩年には眼病を患い、一時は失明の危機も訪れました。

しかし、熱心なる唱題、法華経の読誦により、眼病は奇跡的に回復したのでした。

そして、その時

「もし我死せば、他の眼病者を守護せん、こころみ我の廟を拝せば、立処に靈驗を得ん」との、お言葉を残されました。

その後、このお言葉に従い、全国各地の寺院で目の悪い方々が『日朝上人』をお祀りし、更に『日朝講』を結成し、眼病平癒の祈念をしてきたのでした。

目薬【朝光水】は、日朝上人が晩年隠栖されました、身延山の覚林房にて祈禱され、頒布されたのが始まりで、現在に至っています。

当山でも昔から、日朝上人の尊像を大本堂の左側のお堂に安置し、眼病平癒の神として信仰してきました。

檀信徒研修会のお知らせ

☆四月二十日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

*『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間・・・午後七時より

場所・・・小本堂【イス席です】

持参品・・・聖典(事務所にて)・数珠

*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

*ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各自の目標に向い頑張って修行して下さい。

霊断

檀信徒の皆様で、何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。宗旨宗派は問いません。

『聖典の読誦と唱題行』の次第

礼拝文 「謹みて礼拝し奉る」 【4ページ】

開経偈 「無上甚深微妙の法」 【6ページ】

読経 「方便品第二」 【9ページ】

「如来寿量品第十六」 【13ページ】

「如来神力品第二十一」 【19ページ】

「観世音菩薩 普門品第二十五」 【23ページ】

「陀羅尼品第二十六」 【30ページ】

「普賢菩薩 勸発品第二十八」 【35ページ】

「夫れ懺悔は治病の」 【47ページ】

「祈禱 鈔」 【67ページ】

「南無妙法蓮華経」

「此経難持」 【72ページ】

「導師が唱えます」

「誓つて南無妙法蓮」 【76ページ】

「なむめうほうれん」 【77ページ】

三 整 唱

四 誓 願

回 向 文

宝 塔 品 偈

御 題 目

御 妙 判

懺 悔 文

弾 指 合 掌

以上

お寺からのお知らせ

当山では、次の主な仏事用品をお譲りしています。

*お塔婆

◎普通塔婆 (二千元)

◎普通幅広塔婆 (二千五百円)

◎五十回忌用塔婆 (三千元)

◎五十回忌幅広塔婆 (三千五百円)

・お寺・ご自宅で法事をする時、お塔婆をご希望の方は、その旨をお申付け下さい。

*お追膳

◎一膳 (五百円)

・お寺で法事・命日忌を行う場合ご用意します。
・位牌堂・永代供養堂にご命日にご用意します。

*日蓮宗用過去帳

◎大・三千九百円 ◎小・三千五百円 【書き代五千元】

*大曼荼羅御本尊

◎極小三千円から各種サイズがあります。

大きさはご相談下さい。【魂入れ代五千元】

*大荒行護符 (オブラート・一枚三百円)

*榊入大黒天 (分割可能)

◎一升榊 (手彫・五万円) (機械彫・三万円)

◎五合榊 (手彫・四万円) 【魂入・御幣代を含む】

*お経本

◎聖典 (八百円)

・ついたちのお勤め・朝のお勤め・檀信徒研修会用
◎法華経要品の訓読【日本語読み】(千五百円)
・十三日のお勤め・秋彼岸会のお勤め用

*お経のテープとCD

◎聖典用のカセット (六百円)・CD (千円)

◎十三日用のカセット (六百円)・CD (千円)

*地鎮祭用の経石

◎地鎮祭で土地に埋める経石五個 (五千元)

*起工式 (柱立て) 用の棟札

◎大黒柱に掛ける木札 (三千元)

*御首題帳

◎参拝寺院のお題目・御朱印の記入帳 (千円)

*朝光水 (身延山の目薬・六百円)

*その他・お守り・お札等

◎お守り袋・チェーン・ペット用のお守り・お札等、色々取り揃えていますのでお申付け下さい。

『朝のお勤め』のススメ

当山では、毎朝午前六時半より『朝勤会』を執り行っています。

時間は、大本堂く小本堂く位牌堂を回しまして、約一時間十分となっています。

聖典【お経本】を最初から順序よく読んでいきますので、どうぞご一緒にお読み下さい。

初めは難しいですが、繰り返し事で段々慣れてくると思いますので、一生懸命頑張ってみましょう。また、朝勤会に毎月の『祈願・供養』を申込まれている方には、特に朝参りをお勧め致します。

唯、お寺にお願いするのだけではなく、少しでも時間を見つけて、自らが参拝する事が大事なのです。

そしてご自宅では中々出せない大きな声で、「法華経」『懺悔文』『お題目』を唱え、祈願・供養などの願い事が早く成就するようにと、集中してご祈念して下さい。

お勤めはイス席で行っています。

◎朝の『祈願・供養』・・・一件、一ヶ月三千元

『霊神符』を持ちましょう！

最近はおもいもよらない事故・事件・災害が多発して特に、お子さんやお年寄りが多く巻き込まれている状態です。

檀信徒の皆様も「私だけは大丈夫」というお考えはお止めになりまして、素直に毎月『霊神符』(お守り)を肌身離さずお持ちになりますようお願いいたします。

【二体・百五十円】

『聖徒団会員』募集！

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞『聖徒タイムズ』・寺報等の援助などに活用します。

会費・・・年額二、四〇〇円 (月二百円)

『提灯』！募集！

当山で『お正月』『鬼子母神大祭』『御会式』に下げます『提灯』(トローロー)を募集致します。

作成価格は八千円、年間の管理費が二千円ですので、初年度は一万円となります。

四月の行事

一 日(月) 盛運祈願会 午後一時より

- ・お守り【霊神符】の交換の日です。
- ・必ずお勤めに参拝し、お題目とお経を唱えて感謝の心を込めて戴きましょう。
- ・聖典(お教本)と数珠は必ずご持参下さい。



十三日(土) 日蓮大聖人の御回向 午後一時より

- ・お経
如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
如来寿量品第十六(真読・漢字読み)
- ・日蓮大聖人様への御報恩を忘れずに参拝し、一緒にお経・お題目を唱えましょう。

十三日(土) 宗祖御降誕会 午後一時より

注)日蓮大聖人のお誕生日です。

二十日(土) 檀信徒研修会【唱題行】午後七時より

注)どなた様でもご自由に参加出来ます。

☆奉仕のお知らせ

三日(水) 倉庫整理と境内地の大清掃

教宣部男女・・・午前十時より

*大掃除を行いますので、よろしくお願い致します。

◎奉仕部長・山田兼補 ◎伝道部長・小野正春

◎教宣部長・杉淵昌三

☆行事のご案内

*盛運祈願会

- ・毎月のお守り(霊神符)を必ず着体しましょう。
- ・一日午後一時からのお勤めに参拝して下さい。

*十三日のお勤め

- ・日蓮大聖人様の大事な『月ご命日』の日です。
- ・午後一時からのお勤めに参拝して下さい。

*朝のお勤め

- ・毎朝、午前六時半より
- ・聖典【お経本】と数珠を忘れずに!

☆剣守札(星)

星祭の剣守札(星)をお忘れの方は、まだ受付ていませんので、ぜひお申込み下さい。



一体・・・二〇〇円